

いつまでも健やかに・・・

—私たちの願いです。

環境経営レポート2021
2021/04/01 ~ 2022/03/31



医療法人 玉昌会
発行：2022/8/17



Save the earth

■ 目次

章	項目	頁	対応するSDGsゴール
1	環境基本理念・環境経営及びSDGsへの取組宣言 ・環境経営方針	3	            
2	事業の概要、事業の規模・適用範囲、活動事業所	4	     
3	環境経営システム体制・役割・権限	7	    
4	経営における課題をチャンスに	8	
5	環境活動のあゆみ «エコアクション21取得から10年»	9	            
6	社会貢献、地域のボランティア清掃、 環境コミュニケーション及び教育・訓練記録	10	
7	2021年度取組み	13	        
8	環境活動計画	15	            
9	環境経営実績及び中期目標、環境経営数値実績と現状把握	16	
10	マテリアルバランス	20	          
11	環境関連法等の遵守	21	    
12	代表者による全体の評価と見直し	22	            



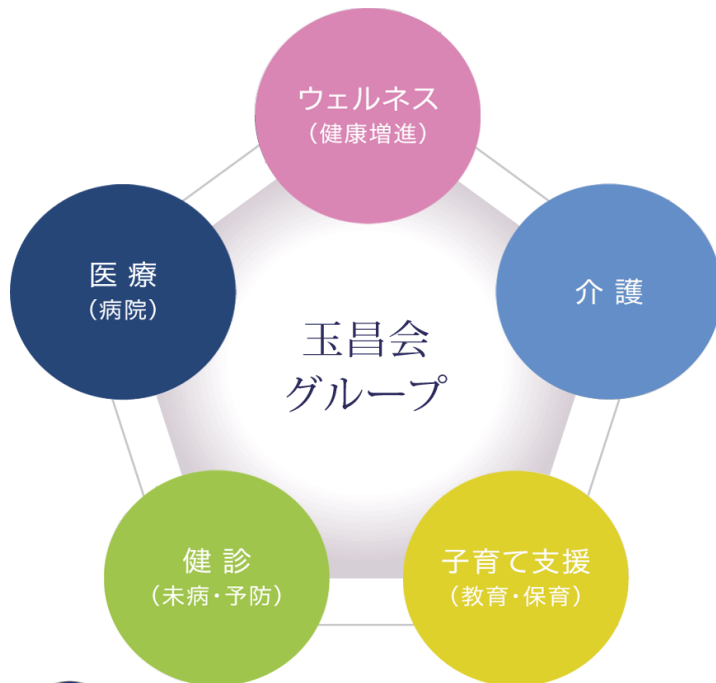
■ 環境基本理念・環境経営及びSDGsへの取組宣言・環境経営方針

● 環境基本理念

「いつまでも健やかに・・・－私たちの願いです。」の法人理念を柱に地域社会に医療・介護・福祉サービスを提供させて頂いている私たちは、今後も地域の皆さまと共に、より良い社会を築くために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として環境経営に取り組みます。

● 環境経営及びSDGsへの取組宣言

医療法人玉昌会は、事業活動の中に、CO2削減・省エネルギー・省資源・廃棄物削減等の環境配慮を求め、継続的に改善してまいります。
地球環境に配慮した環境経営を行う法人として、環境負荷軽減の取組み、及び「SDGs」への取組みを宣言します。



医療法人 玉昌会
理事長 高田 昌実



● 環境経営方針「Save the earth」

環境への負荷削減を始めとする環境保全活動に積極的かつ継続的に取組み、環境経営を通し「SDGs」の達成に貢献するため、以下に環境経営方針を定めます。

1. 事業活動に関わる環境関連法・条例その他のコンプライアンスを徹底します。
2. 環境負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組みます。
 - ① 地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
 - ② 資源の有効的活用を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
 - ③ 廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
 - ④ 水使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
 - ⑥ 医療、福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
 - ⑦ 地域清掃活動を継続します。
3. この環境経営方針を推進するために、教育・研修を継続し全職員に周知します。

■ 事業の概要

● 法人概況

法人名称・代表者 : 医療法人 玉昌会 理事長 高田昌実
住所 : 鹿児島県鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル4階
事業内容 : 医療・介護・福祉サービスの提供
職員数 : 1,019名(2022.3末現在)
環境管理責任者 : 法人事務局施設管理部 井前明浩

● 鹿児島地区事業

担当理事 : キラメキテラス ヘルスケアホスピタル院長 上村章

医療機関

- キラメキテラス ヘルスケアホスピタル
- キラメキテラス ヘルスケアホスピタル トータルウェルネスセンター

住宅型有料老人ホーム

- しあわせの杜 ケアレジデンスほりえ

在宅サービス

- 居宅介護支援事業所 キラメキ
- 訪問看護ステーション まむ鹿児島
- 訪問介護 ヘルパーステーション甲東
- デイサービス しあわせの杜 ケアレジデンス風の街

地域密着型サービス

- キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗
- 看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス星の街

法人事務局



● 始良地区事業

担当理事 : 加治木温泉病院長 夏越祥次

医療機関

- 加治木温泉病院

住宅型有料老人ホーム

- しあわせの杜 ケアレジデンスおはな
- しあわせの杜 ケアレジデンスおはな別館

在宅サービス

- 居宅介護支援事業所 めく杜
- 訪問看護ステーション まむ
- デイサービス しあわせ通りらぶ

地域密着型サービス

- 看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜 ケアレジデンスお福
- 看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜 ケアレジデンスとまり木
- グループホーム しあわせの杜 ケアレジデンス木もれ日
- グループホーム いこいの里花いちもんめ

社会福祉法人幸友会

- かずみ保育園

株式会社JOY

- WellBe Club



■ 事業の規模・適用範囲

- 名称 医療法人 玉昌会
- 代表者 理事長 高田昌実
- 事業年度 4月から翌年3月
- 従業員数 1,019人

事業の規模		
事業所名称	病床・ベッド数	床面積
キラメキテラスヘルスケアホスピタル	198 床	9,641㎡
加治木温泉病院・介護医療院	350 床	11,730㎡
在宅サービス事業所	144 床	3,299㎡

鹿児島地区対象事業所		
事業活動	事業所名称	職員数
病院	キラメキテラスヘルスケアホスピタル	330
在宅 事業所	しあわせの杜 ケアレジデンス星の街	33
	しあわせの杜 ケアレジデンス風の街	
	しあわせの杜 ケアレジデンスほりえ	
	訪問看護ステーションまむ鹿児島	
	居宅介護支援事業所キラメキ	4
	ヘルパーステーション甲東	12
	キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗	8
法人本部	法人事務局	57

始良地区対象事業所		
事業活動	事業所名称	職員数
病院	加治木温泉病院・介護医療院	469
在宅 事業所	しあわせの杜 ケアレジデンスおはな	50
	居宅介護支援事業所 めく杜	
	訪問看護ステーション まむ	
	通所介護事業所 しあわせ通りらぶ	
	しあわせの杜 ケアレジデンス木もれ日	23
	しあわせの杜 ケアレジデンスとまり木	
	いこいの里 花いちもんめ	8
	しあわせの杜 ケアレジデンスお福	25
	しあわせの杜 ケアレジデンスおはな別館	

■活動事業所

● 鹿児島地区事業所

キラメキテラスヘルスケアホスピタル



看多機 麗



法人事務局



ケアレジデンスほりえ



トータルウェルネスセンター
居宅介護支援事業所キラメキ



● 始良地区事業所

加治木温泉病院



ケアレジデンスおはな



ケアレジデンス木もれ日



ケアレジデンスとまり木



ケアレジデンスおはな別館

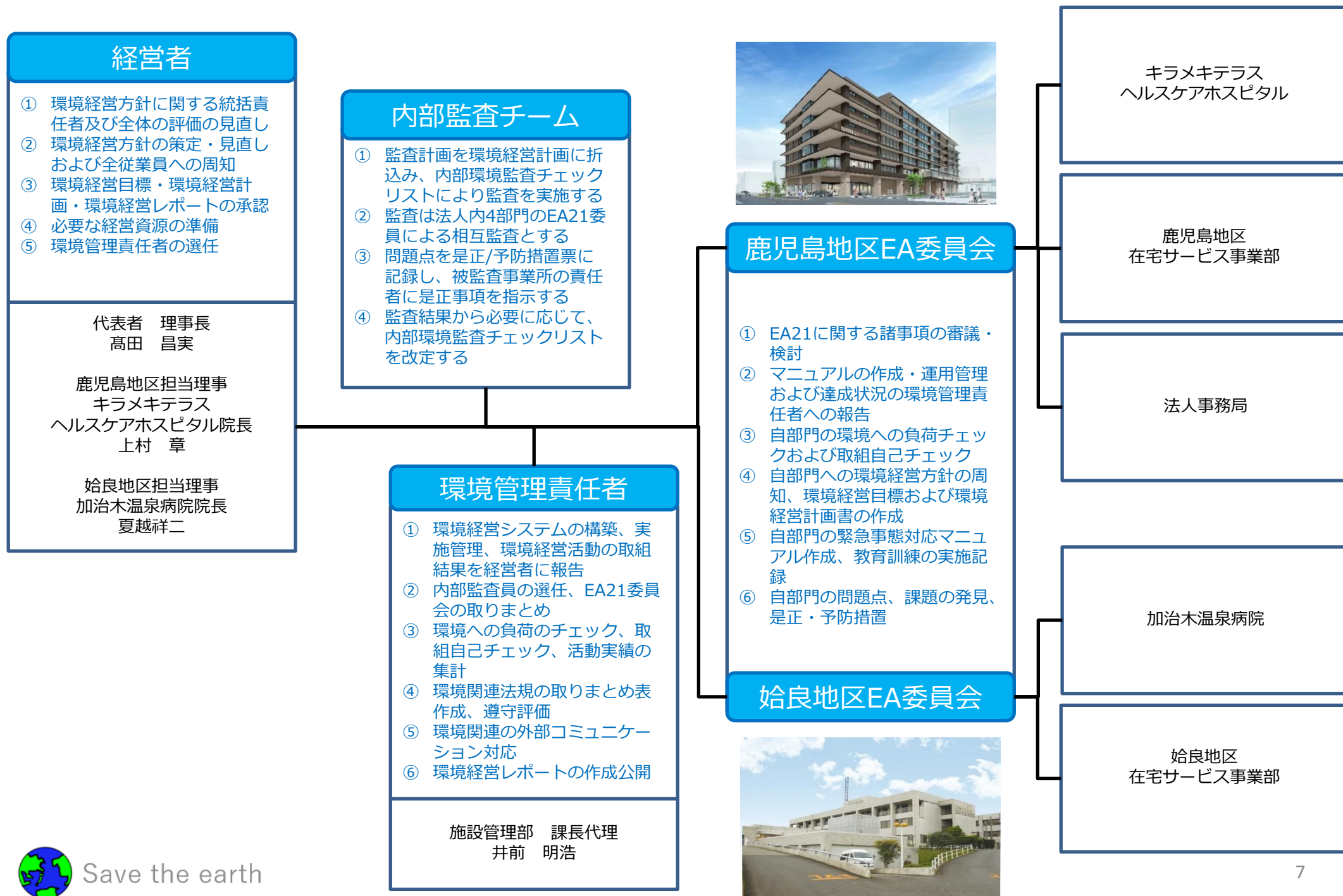


ケアレジデンスお福



Save the earth

■ 環境経営システム実施体制・役割・権限



■ 経営における課題をチャンスに

● 品質および環境マネジメントに関する外部・内部の課題

経営と環境への取組みの方向性を一致させ、環境経営を実現させるためには、経営における課題とチャンスを検討し、それらを環境への取組みに反映させる必要があります。「品質マネジメント」および「環境マネジメント」の手法により、法人の内外における課題を整理してまとめました。

玉昌会は、このようなマネジメント手法により抽出した課題を経営におけるチャンスと捉え、中長期的「環境経営方針」および短期的な「環境経営目標」を策定し、経営環境の変化に応じてこれらの方針や目標を見直ししながら、環境経営に取り組んでいます。

不安要因	外部の課題			好ましい要因
	患者・利用者の減少による売上高の減少、収益率の低下	市場	急性期を含む患者層の拡大、業務効率化	
	社会保障制度変更・診療報酬改定、為替変動	経済・財務	公定価格で低水準で安定	
	法規制、建築物への省エネ基準達成義務化	コンプライアンス	法基準クリアのみならず「意匠登録」をも活用した改善	
	医師不足	人材	特定看護師・コメディカルへの権限拡大	
	看護師・介護士不足		奨学金制度・再雇用制度の活用	
	地域包括ケアシステムの構築	医療費抑制	国の政策を踏まえ、地域の実用を反映したシステムづくり	
	地域医療構想病床数の削減		全国自治体が取組みを検討	
	公的病院と民間病院の不平等	競争	公的病院の統合再編	
	医療動向及び市場の変化	価値観	健康増進(ウェルネス)へのシフト	
	自然災害・火災などの緊急事態発生	研修・訓練	実効的な訓練の反復継続	
	新型コロナウイルス感染症対応	感染症対応	陰圧診察室・陰圧病室・感染症対応病室の設置	
	医師の働き方改革	人材	コメディカルへの権限拡大、健康管理・支援・増進活動 有給休暇/育児休暇および子の看護休暇の取得推進	
	看護師・介護士不足		健康管理・支援、健康増進活動の推進 有給休暇/育児休暇および子の看護休暇の取得推進	
	子育て世代以外の不満		有給休暇および介護休業の取得推進、働き方改革への取組み	
	診療報酬改定、薬価改定	医療費抑制	診療報酬外収入の検討	
最新のICT技術の利活用	IT化	Web会議導入、電子カルテ入替、スマートヘルスケアの普及		
内部の課題				



■環境活動のあゆみ «エコアクション21取得から10年»



● 2012年度

- エコアクション21取組みを開始
- 玉昌会環境方針を制定

● 2013年度

- エコアクション21認証を取得

● 2014年度

- 九州エコライフポイント事業協賛を開始

● 2015年度

- DBJ 健康格付を取得

● 2016年度

- 環境経営レポート大賞・九州 «地域社会貢献賞»
- DBJ 環境格付取得／ビジョナリーホスピタル取得 (☆☆)

● 2017年度

- 環境経営レポート大賞・九州 «事業における環境貢献賞»
- DBJビジョナリーホスピタル取得 (☆☆☆)

● 2018年度

- コスモ・クリーンキャンペーンin重富海岸に参加
- 環境経営レポート大賞・九州 «九州環境カウンセラー協会特別賞»

● 2019年度

- 環境経営レポート大賞・九州 «SDGs賞»

● 2020年度

- 環境省・環境コミュニケーション大賞 «環境経営レポート部門優良賞»
- 環境経営レポート大賞・九州 «環境経営レポート大賞»

● 2021年度

- かごしまSDGs推進パートナー登録
- エコアクション21永年継続事業者感謝状



■ 社会貢献

主な外部機関名	役職
日本医療経営実践協会	九州支部理事南九州支局長
NPO法人 災害福祉広域支援ネットワークサンダーバード	監事・鹿児島支部長
鹿児島県地域医療対策協議会	委員
始良・伊佐保険医療圏地域医療構想調整会議	委員
鹿児島県透析医会	会長
鹿児島県医療法人協会	理事
鹿児島県地域医師育成	特別顧問
日本性機能学会・思春期学会	理事・評議員
鹿児島県慢性期医療協会	監事
鹿児島県慢性腎臓病対策協議会	委員
鹿児島県薬剤師協会	理事
幼稚園・中学校	学校薬剤師 2件
鹿児島県言語聴覚士会	会長
鹿児島県リハビリテーション看護研究会	役員
小・中・高・専門学校	校医 3件
企業・学校・医療法人	産業医 2件
中・高・専門学校・大学	講師 24件
その他協議会・委員会等	その他 50件
子ども食堂への食材提供、 地域のボランティア清掃、 応急手当普及員派遣等	



■地域のボランティア清掃

● 鹿児島地区

キラメキテラスヘルスケアホスピタル近隣の二中通りで清掃を行いました。



● 始良地区

加治木温泉病院近隣の春日神社で清掃を行いました。



Save the earth

■ 環境コミュニケーション及び教育・訓練記録

外部コミュニケーション		内部コミュニケーション	
		鹿児島地区	始良地区
4月		EA21委員会	
5月			EA21委員会
6月	始良地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	
7月	県 みんなの水辺サポート推進事業活動		EA21委員会
8月	鹿児島地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	
9月	鹿児島地区地域ボランティア清掃		EA21委員会
10月		EA21委員会	
11月	県 みんなの水辺サポート推進事業活動		
	九州環境レポート大賞応募		EA21委員会
12月	始良地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	
	鹿児島地区地域ボランティア清掃		
1月			EA21委員会
2月		EA21委員会	
3月	始良地区地域ボランティア清掃		EA21委員会

教育・訓練		
	鹿児島地区	始良地区
4月	環境について新入職者研修	
	院内研修「EA21について」	加治木温泉病院漏油訓練
5月	キラメキHP防災訓練	
	キラメキHP漏油訓練	
	産業廃棄物緊急事態訓練	
6月		産業廃棄物緊急事態訓練
7月		
8月		在宅3施設防災訓練
9月		グループホーム防災訓練
		加治木温泉病院防災訓練
		加治木温泉病院漏油訓練
10月	有料老人ホーム等防災訓練	
11月	キラメキHP防災・漏油訓練	
2月		在宅3施設防災訓練
		加治木温泉病院防災訓練
		院内研修「SDGsってなんだろう」
3月	有料老人ホーム等防災訓練	在宅2施設防災訓練
		グループホーム防災訓練



■ 2021年度の取組み

電子カルテシステムのリプレイス

● 各拠点の電子カルテシステムを統合

玉昌会グループでは、従来から医療部門を中心に電子カルテシステムを活用して参りましたが、今年度に各拠点のシステムを順次リプレイス（更新）し、グループ内のシステムを一つに統合しました。このリプレイスにより、従来各拠点ごとに採番していた患者さまひとりひとりのIDを統一し、各拠点で共通して利用することが可能になりました。

ハード面では各拠点ごとに設置していたサーバーを統合し、クライアント端末の刷新と共通化により、情報容量の大幅な拡大とセキュリティの強化、操作性の向上を実現しました。ソフト面でも共通の患者IDを活用した診療情報の一元化のみならず、従来は紙で保管していた患者さまからの申込書や同意書を電子情報で保管しペーパーレス化することができました。

旧患者ID体制

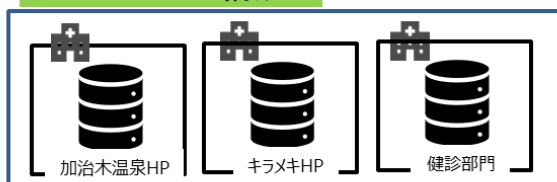
	加治木温泉HP	キラメキHP	健診部門
患者A	0533	1998	3024
患者B	6671	IDなし	IDなし
患者C	IDなし	1223	4310
患者D	IDなし	IDなし	7256

新患者ID体制

	共通ID
患者A	0533
患者B	6671
患者C	501223
患者D	707256

統一順序（電子カルテ移行順）

旧サーバー構成

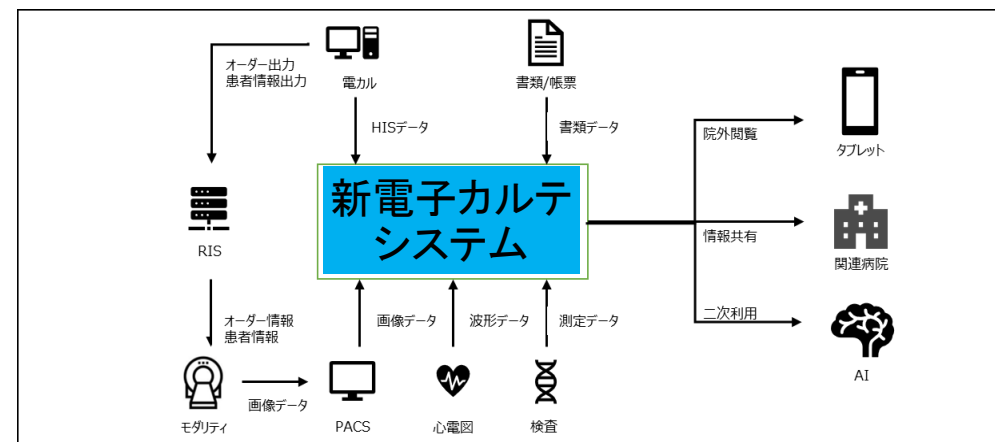


新サーバー



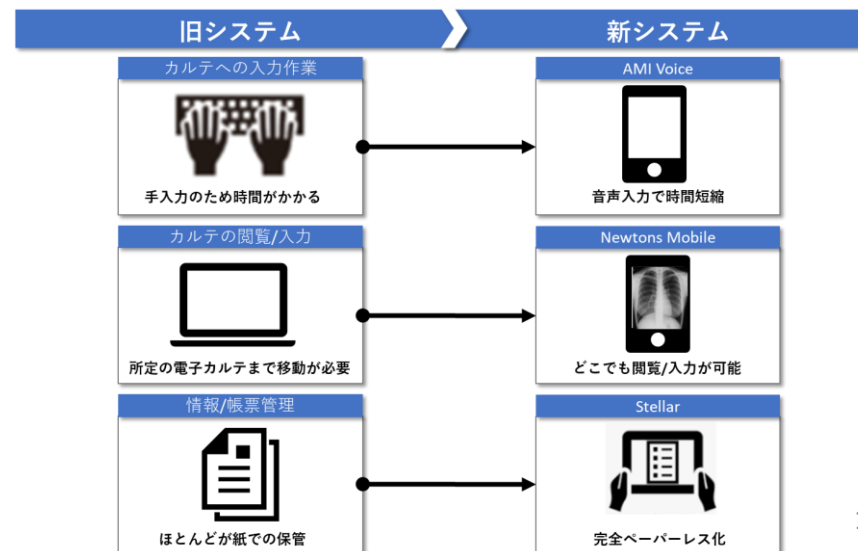
● 統合後のイメージ

従来の電子カルテシステムでは個別に管理されていた各種の情報を、新システムで一元化して管理することにより、さまざまな検査データや過去の治療情報、服薬情報などを有機的に連携して活用し、医療サービスの向上に努めて参ります。



● 統合の効果

スマートフォン型タブレットの導入による音声入力の活用や、各種情報の閲覧、紙での情報保管をペーパーレス化し、業務の効率化と紙使用の削減を図ります。

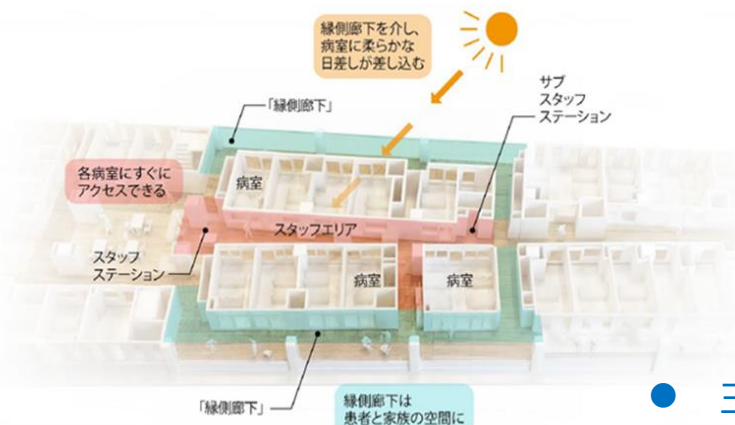


■ 2021年度の取組み

環境に配慮した新病院「キラメキテラス ヘルスケアホスピタル」



左:「ゼロ動線病棟」に設けられた「縁側廊下」イメージ
右:「ゼロ動線病棟」を導入した病院の病棟空間構成



● 画期的な新病院を通年運用

玉昌会では、2021年2月に「キラメキテラス ヘルスケアホスピタル」を新築し、2021年度は以下の新機軸を持つ新病院を、初めて通年で運用しました。

● 「縁側廊下」と「ゼロ動線病棟」

共用空間（廊下）を左右外壁側に配し、縁側廊下と一体とした採光等を利用して温度変化の少ない快適な病室環境を実現しています。また、スタッフステーションと各病室を直結して「看護動線」をゼロとする平面構造をとっています。

この「動線・視線・病棟環境」に着目した革新性がポイントになり、病院の建築物としては日本で初めて意匠登録されました。

● 災害対策

耐震性の高いエネルギーセンターからの電力および熱供給によるエネルギー確保、ろ過システムの導入による地下水の常時利用に加えて市水道も併用可能など、設計段階から防災対策をとっており、災害時も医療の継続性を保ちます。

また、地震・豪雨による浸水対策として建物1階の天井高は6mを確保しており、病院事業の維持だけでなく、地域の避難所としての機能も持っています。

● 主な環境対策

● 省エネルギー

- ・建物外周の庇の効果で、日射に起因する熱負荷を「約30～50%削減」
- ・窓ガラスに複層ガラスを採用、屋上防水に高反射率50%のトップコートを採用
- ・中央監視システムによる全室空調温度管理
- ・大型外調機による還気廃熱を有効利用した全熱交換空調設計
- ・感染症対策として設置した陰圧室には、部分換気と高性能フィルターを採用
- ・厨房空調にクールピットを導入
- ・全ての照明にLEDを採用、人感センサーを多用
- ・全ての動力モーターにインバーター制御を導入

● 水資源の管理

- ・隣接病院との共同地下ろ過システムにより平常時使用水量をほぼ100%確保
- ・洗面手洗い等全てに自動水栓を採用し、トイレには流水音発生器を採用

● 温室ガス排出抑制

- ・エネルギーセンターから、CO2排出係数の低い電力及び冷温水による熱源供給
- ・給湯用重油ボイラーを廃止、都市ガスも調理用のみとし化石燃料使用を最小化

● 大気、水質汚染防止

- ・透析排水中和処理装置を設置、災害時は建物地下を排水貯留槽に利用可能

■ 環境活動計画

● 環境経営方針を踏まえた環境活動計画と実施内容

玉昌会環境経営方針の3つの柱「1.法規等の遵守、2.環境負荷の削減と環境改善、3.教育研修の継続」に取組み、グループ全体でSDGsを推進しています。

環境経営方針	取組事項	実施内容	評価	SDGsの取組
法規等の遵守	化学物質管理関連法規の遵守	管理票を活用した保管・使用時の厳正な管理	◎	    
	廃棄物関連法規の遵守	特定管理廃棄物委託業者のマニフェスト確認	◎	
環境負荷の削減と環境改善				
① 省エネ、二酸化炭素の削減	電気使用量によるCO2削減	空調フィルターの計画的清掃	○	           
		空調温度管理の徹底	△	
		施設担当院内巡回時の確認徹底	○	
	燃料使用量によるCO2削減	段階的なエコカー導入の検討	△	
		ワゴン車を代替する軽車両の有効活用	○	
		エコドライブの徹底	○	
	冷温水供給によるCO2削減 (キラメキテラスヘルスケアホスピタル)	空調温度管理の徹底	◎	
		施設担当院内巡回時の確認徹底	○	
② 資源の有効的活用、3R推進	設備のリユース	旧高田病院備品の活用（空調機器・什器備品）	○	
③ 廃棄物の削減及び適正管理	電カル更新によるペーパーレス化	申込書・同意書等の電子的保管	○	
④ 水使用量の削減	節水、温泉水の有効活用	機器の点検・修繕を徹底する	○	
		浴槽水のオーバーフローを減らす	△	
⑤ 化学物質使用量の削減と安全管理	感染症対策と適正管理の徹底	毎月の使用量把握による異常値発生時の検証	○	
		保管体制強化・日報管理による現物管理の徹底	◎	
⑥ 医療・福祉サービスの効率的提供	病院・施設稼働率の向上	感染症の影響を踏まえた紹介・逆紹介の推進	○	
⑦ 地域清掃活動の継続	定期的なボランティア活動の企画	地域に密着したボランティア清掃活動の継続	◎	
教育・研修の継続	環境経営の推進と周知	委員会活動による取組推進	◎	    
		新入職員オリエンテーションでの教育	◎	



■ 環境経営実績及び中期目標

● 2021年度環境経営実績及び2022年度以降目標

今年度の2021年度は、病院新規移転後初めて通年運営した年度であることに加え、在宅部門の再編成も行ったため、実績値の現状把握をする年度とします。

2022年度以降の目標は、2021年度に対比し▲0.5%で設定しています。

● 排出係数一覧

九州電力：0.476kg-CO₂/kWh、エナジードリーム：0.476kg-CO₂/kWh、

九州エナジー：0.439kg-CO₂/kWh、他からの供給熱源：0.057kg-CO₂/Mj

環 境 経 営 目 標 と 実 績 値								
項目	年度	2020年度 (基準年)	2021年度			2022年度	2023年度	2024年度
		実績	実績	目標値 基準年対▲0.5%	基準年比 %	評価	目標	目標
「全体の二酸化炭素排出量削減」	(単位：t-CO ₂)	2,010.5	2,443.4	-	21.5%増	-	2,431.2	2,419.0
・電気使用量によるCO ₂ 排出量		1,594.3	1,762.6	-	10.6%増	-	1,753.7	1,744.9
・燃料及び他からの供給熱源使用量によるCO ₂ 排出量		416.2	680.9	-	63%増	-	677.5	674.1
「水資源の節水」(水の使用量削減)	(単位：m ³)	87,231	99,437	-	14%増	-	98,940	98,443
「廃棄物排出量削減」	(単位：t)	469.9	529.8	-	12.7%増	-	527.2	524.5
・産業廃棄物削減		275.6	293.5	-	6.5%増	-	292.0	290.6
・一般廃棄物削減		194.3	236.3	-	21.6%増	-	235.1	233.9
「紙使用量削減」(JIS-用紙使用量削減)	(単位：t)	12.2	12.7	-	3.6%増	-	12.6	12.6
「化学物質の適正管理」	(単位：t)	2.1	2.8	使用量は院内消毒が増え約30%増です 保管管理は点検表等適正に管理しています			適正管理	適正管理
「地域貢献」(地域清掃ボランティア活動等)	(単位：回)	16	16	16		○	16回以上	16回以上

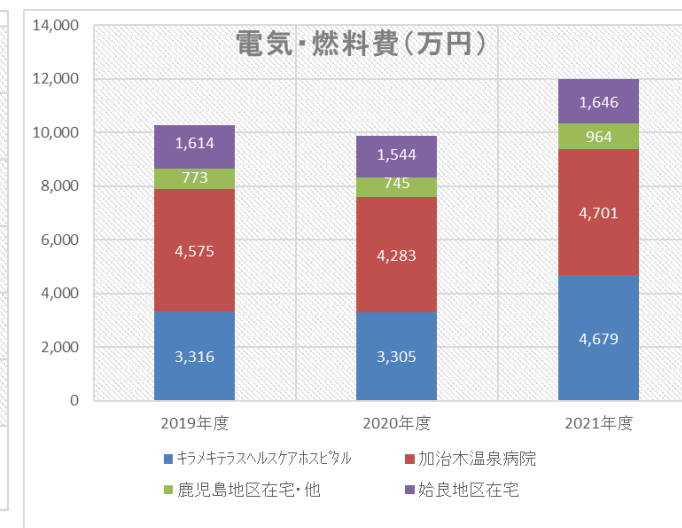
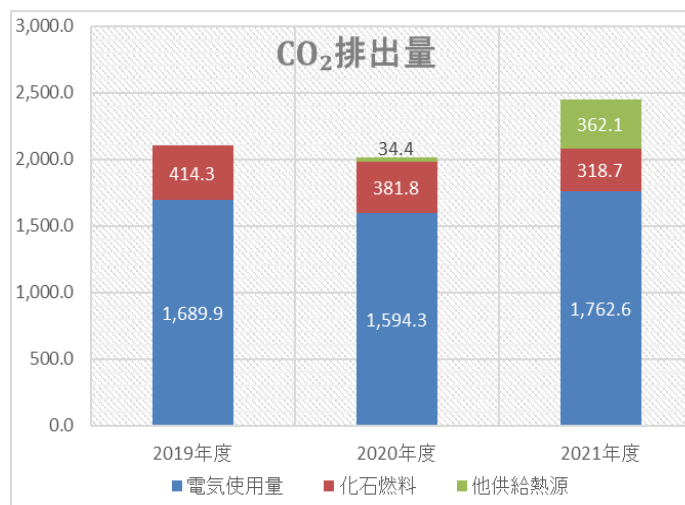


■ 環境経営数値実績と現状把握

「エネルギー使用によるCO₂排出量削減」

単位：t-CO₂

項目	年度	2021年度			
	2020年度 基準年実績	目標値	実績	増減	
CO ₂ 総排出量	2,010.5	-	2,443.4	21.5%	↗
電気使用量 による CO ₂ 排出量	1,594.3	-	1,762.6	10.6%	↗
燃料・他熱源 による CO ₂ 排出量	416.2	-	680.9	63.6%	↗



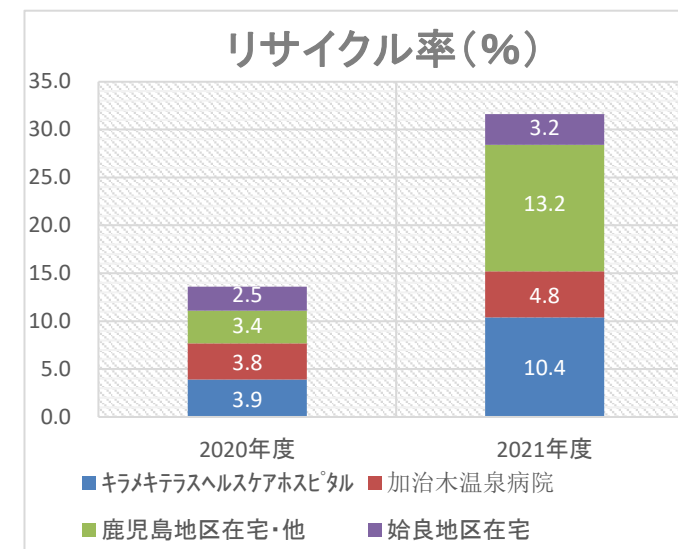
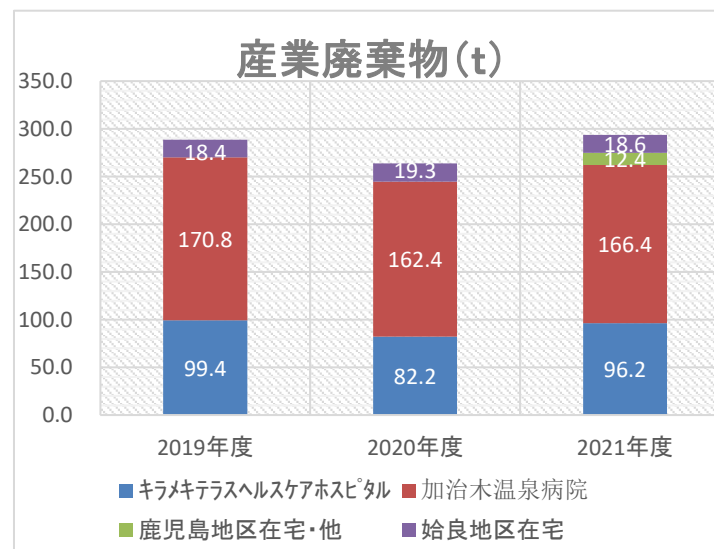
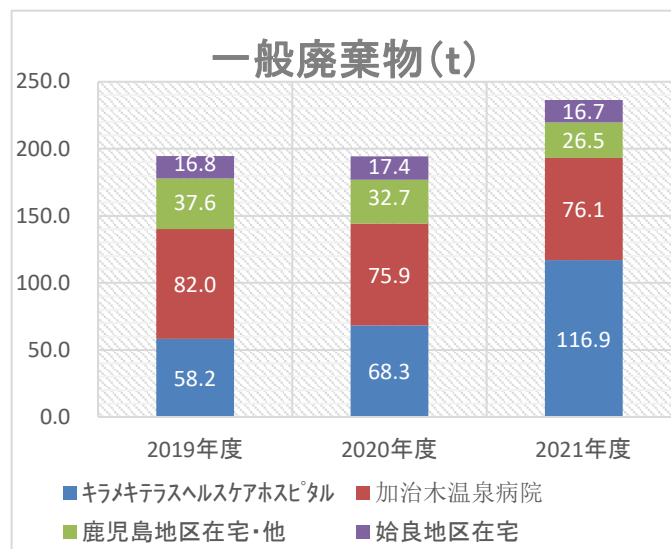
● 取組結果と次年度対策

項目	取組事項	評価	次年度対策
省エネ、二酸化炭素の削減	CO ₂ 総排出量	燃料・他熱源によるCO ₂ 排出量の割合増加は、基準年実績が2か月分（2月に新病院開院）のためです。新病院の空調は冷温水使用のファンコイル方式で、床面積は1.5倍となり熱源での換算値が増えています。	通年での運用ノウハウを活用し、電気・燃料・冷温水それぞれに対してきめ細やかな管理を行って参ります。
	電気使用量	すべての病院や施設で感染症対策のために換気の頻度を上げており、空調使用量が増えています。空調での熱量負荷が大きいため、夜間インバーター出力を抑えることに致しました。	感染症対策を徹底しつつ、空量の適正管理に努めます。
	燃料使用量	車両入替時、エコカー導入を個別に検討しています。また訪問看護・介護の増加や事業部門の再編成による拠点間の移動が増えています。	車両入れ替えなど計画的に行いつつ、職員へのエコ運転の教育・周知徹底を行います。
	冷温水熱源使用量 (2021年2月の新病院開設から熱源使用を開始)	新病院は延面積を約1.5倍としたほか、1階フロア高を6m確保して南海トラフ地震や豪雨による浸水対策を取っており、加えて感染症対策もあって空調使用量が増えています。空調が冷温水によるファンコイル方式になり、昨年度比較で大幅に増加となりました。	春・秋など中間期空調運転の見直しも含め、熱負荷を下げる効率運転を模索、検討して参ります。



■ 環境経営数値実績と現状把握

「廃棄物の削減」「リサイクルの推進」



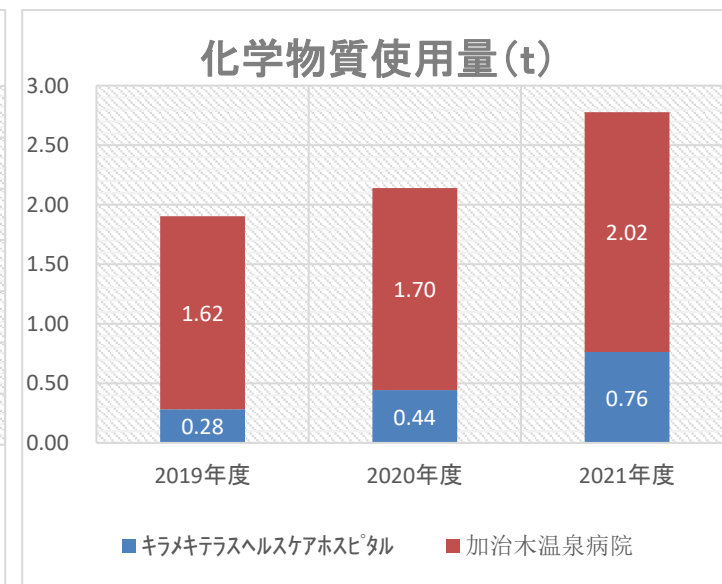
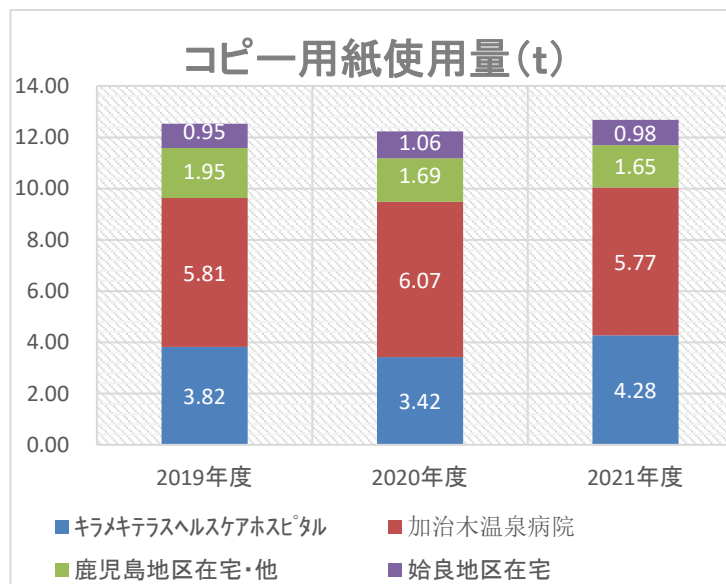
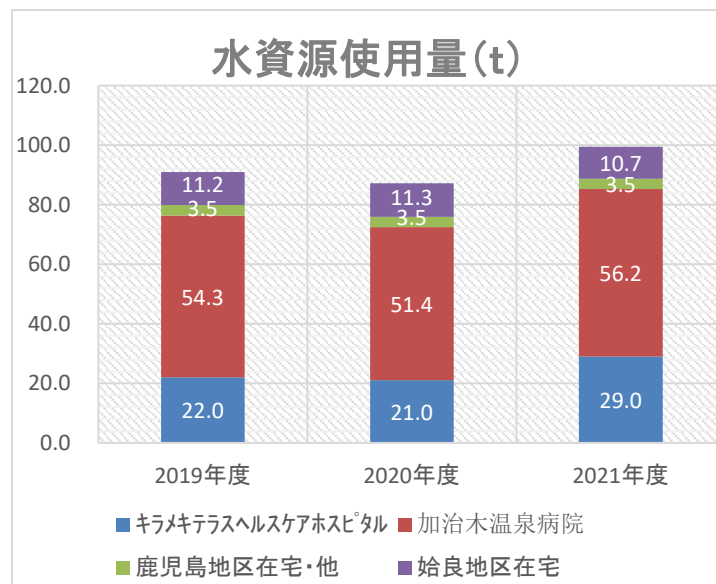
● 取組結果と次年度対策

項目	取組事項	評価	次年度対策
廃棄物削減	一般廃棄物	感染症対策により、ごみ量が増えています。	感染症対策とゴミの分別を徹底します。
	産業廃棄物	感染症発生に伴い、感染物が増加しました。	感染症対策に伴う廃棄物の分別を徹底します。
	リサイクル率	ごみの分別を徹底しました。	リサイクル率の向上のため、資源ごみの分別を徹底します。



■ 環境経営数値実績と現状把握

「水使用量の削減」「紙使用削減」「化学物質の適正管理」



● 取組結果と次年度対策

取組事項	評価	次年度対策
水資源使用量削減	新病院での透析ベット数、患者様の増加に伴い、増えています。また老朽化に伴う漏水が発生しました。	月々の使用量から漏水などにいち早く対応します。浴槽のオーバーフローなど無駄使いを無くすよう徹底します。
コピー用紙使用量削減	今年度グループ内の電子カルテ更新作業の影響で一時的に増えていますが、今後は更新されたことによる効果が期待されます。	ペーパーレス化で印刷物を減らせば、紙使用だけでなくインク代、プリンター故障等も減るので、会議資料などでの無駄を無くすようします。
化学物質使用量削減	感染症対策の増加に伴う次亜塩素酸使用が主な原因です。次亜塩素酸は10%濃縮を使用しています。	リサイクル率の向上に向け、資源ごみの分別を徹底します。



■ マテリアルバランス

インプット

エネルギー使用量

電力	3,815,282 kwh
ガス	58,081Nm ³
ガソリン	71,408 ℓ
重油	8,560 ℓ
他の熱源	6,353,410Mj

物の購入量

一般事務用品、雑貨
給食食材、コピー用紙
薬剤、医療材料、紙オムツ、透
析回路等々

水使用量

市水	47,952 t
地下水	35,690 t
温泉水	15,795 t

化学物質使用量

Iフルリナ	14.4 Kg
次亜塩素酸ソーダ	2,760 Kg
ホルマリン	3.6 Kg

事業活動

「医療」

入院、外来、透析、リハビリ、健診

「介護」「福祉」

有料老人ホーム、訪問看護、通所介護
グループホーム、看多機居宅介護

※エネルギー・物品・水等は下記の
医療・福祉に使用されます。

病院年間延べ入院数	182,230人
在宅年間延べ入居者数	29,200人
在宅年間延べ利用者数	4,081人
在宅年間延べ稼働数	40,600人
全職員×85%×250日	216,537人

リサイクル等 内部循環

1,019人の雇用

入院・入居者・職員1人/1日/あたり
使用量概算

水使用量	170.5 ℓ
廃棄物排出量	0.9 Kg
温室効果ガス排出量	4.2 Kg-CO ₂

アウトプット

温室効果ガス排出量

2,443,436 Kg-CO₂

カーボンニュートラルを目指す50年生杉
174,531本相当が必要になる
(1本が1年に取り込む量は約14キログラム)

※玉昌会の山林によるCO₂吸収
4.7haから概略58,500Kg-CO₂(約
10日分)を吸収している
と考えられ山林管理や植林も
大事です

廃棄物排出量

一般廃棄物	236.3 t
産業廃棄物	293.5 t
(感染性医療廃棄物を含む)	

排水量

99,437 t

化学物質使用量

2,778.0 Kg



■ 環境関連法規の遵守

主な環境関連法規遵守状況 （法人全体）

項目	関連法規等	設備、内容
大気汚染	大気汚染防止法	非常用発電機
水質汚濁	水質汚濁防止法	特定施設
	下水道法、浄化槽法	浄化槽設備、排水処理設備、油・水分離設備
化学物質	化管法	中央材料室・検査室・浴室消毒・透析室
	消防法	危険物（重油・軽油）取扱に係る部分
廃棄物 リサイクル	廃棄物処理法	感染性、産廃、廃プラ、汚泥、一般廃棄物
	家電リサイクル法	家電製品
	自動車リサイクル法	車両
地球環境保全	フロン排出抑制法、	冷凍機、パッケージエアコン
	省エネ法	エネルギー使用の合理化
その他	労働安全衛生法	中材室滅菌装置
	高圧ガス保安法	医療ガス
	水道法、温泉法	水質検査
	グリーン購入法	物品購入時

● 遵守状況の確認と違反・訴訟の有無、評価

当法人に適用される関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、訴訟もありませんでした。

評価年月日：2022年4月1日

評価者 環境管理責任者 井前明浩



■ 代表者による全体の評価と見直し

● 2021年度を振り返って

玉昌会では、「環境経営」と「健康経営」を両輪とした経営を行い、法人事務局が中心となって「SDGs」の推進に取り組めました。

まず先に「健康経営」に触れますと、4年連続で経済産業省から「健康経営優良法人ホワイテ500」に認定頂きました。そしてこのノウハウを法人内部のみにとどめず学会や商工会議所で講演するなど、積極的な対外発信に努めました。

そしてこのレポートの主題である「環境経営」においては、「エコアクション21」の取り組みを開始して10年の節目を迎え、環境省から永年継続事業者として感謝状を頂くことが出来ました。

2021年度は昨年度2月の病院の新築移転に引き続き、年度代りの4月に在宅施設を新設し、7月には移動健診部門の病院への統合を行うなど、在宅部門でも再編成が行われた年になりました。法人全体で大きく規模や事業部門の再編成を行った為、2021年度は環境負荷に対する実績値把握の1年にすることとしました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況の中、感染対策を徹底しつつ今後も積極的に環境経営に取り組めます。環境経営PDCAサイクルを着実に回し続けることにより、地域の皆様が必要とされる医療・介護・福祉サービスの提供と、環境への配慮・保護において、相乗効果による水準向上に努めて参ります。

● 環境経営目標・計画の達成状況について

・「二酸化炭素排出量削減」

感染症対策として扉の開放による空調換気量が増えてます。新病院の通年運用により、適正な空調管理、照明時間などが把握できました。次年度削減に努めます。

・「廃棄物削減」

事業部門の再編成の影響もあり、一般廃棄物、産業廃棄物ともに増加しています。感染症対策で廃棄物管理がより複雑になっています。次年度も分別・保管の徹底を通じて、感染症対策を確実に行います。

・「水資源の削減」

床面積の増加や透析患者数の増加に比べて、新病院での透析や入浴時など、水使用の効率化が表れてます。次年度も継続いたします。

・「紙資源の削減」

電子カルテシステムの更新や会議資料の事前メール配信などペーパーレス化を進めました。今後も資料の保管・配布のあり方など引き続き改善を行い削減に努めます。

・「化学物質削減」

感染症対策の消毒用次亜塩素酸ソーダを中心に使用量が増えていますが、保管管理は適切になされています。次年度も感染症対策は継続致しますが、可能な限り削減を図りつつ保管管理の徹底を継続致します。

・「医療、福祉サービスの効率化」

新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率が減少傾向です。事業部門の再編成もあり、稼働率94%以上が目標です。

・「地域貢献」

コロナ禍で多くのイベントが中止になりましたが、地域のボランティア清掃活動は継続しています。多くの職員が創意工夫し地域とコミュニケーションをとっています。

玉昌会にとって、環境経営は、健康経営とともに経営の両輪となる大切な取り組みです。環境経営システムは、職員ひとりひとりの日々の地道な活動に加えて、内部監査チームによる相互チェック機能などのPDCAにより有効に働いています。

今年度は新病院の延面積が1.5倍に増え、エネルギー供給形態を変更して初めの通年運用である事や、在宅部門の再編成を行った事もあり、環境経営方針及び実施体制・環境経営システム的大幅な見直し変更は行わず、本システムの取り組みを継続します。

医療法人玉昌会 理事長 高田 昌実

